今！カレンダーが見直されています。

手に入るのが
当たり前だった
年末のカレンダーが、
経費削減で配布する
企業が減った今、

「もらえる」ことが貴重なものに！

“もらって嬉しい„が
一年間の絶大な
広告効果に!!

まだ年末の
ごあいさつに
間に合います！

お問い合わせは弊社担当営業までお気軽に。

D-WAVE（ディー・ウェーブ） 10

大和写真工業(株)
本社 大阪府豊中市三和町4-3-1
高槻支店 大阪府高槻市明田町1-12
TEL 06-6331-1807(代) FAX 06-6332-4453
TEL 072-681-1805(代) FAX 072-681-1830

ディー・ウェーブ
D-WAVE
2026 10 October
MONTHLY NEWS LETTER PRESS vol.225

イマドキの“秋”はこれひとつ。

最近の「YouTube」の影響力ってすごくないですか？
音楽やスポーツ、車・料理・ペットなど趣味のものから政治・経済から企業宣伝・商品紹介等ビジネス関係、
教育系や日常生活に役立つ様々なコンテンツがあふれ、しかもクオリティーが高いものも多いです。

販促戦略やリクルート等で活用する企業も急速に増えてきました。
結局「コロナ禍」以降の社会やライフスタイルの変化が、この流れを加速させましたね。

弊社も「印刷トラブル解決」や「製本の工程」「POD印刷」などのコンテンツでチャレンジしてみるか？と
YouTubeセミナーに参加してみましたが、日々の業務が大変で断念。
（それ以前にインスタ・X・ブログからでは？という声は置いといて…）

印刷物+WEB・スマホサイト+動画+AI+SNS情報発信。
はぁ、「ものづくり」の世界も変わってきたものだ…。

代表取締役 鶴井宏尚

水害に備えよう! 命と生活を守るための「事前準備」

この雨、どの程度?

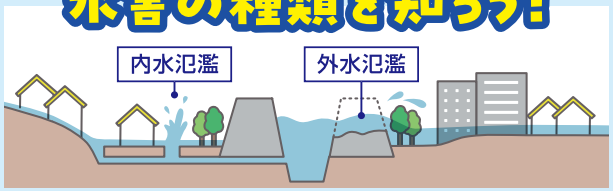
天気予報のニュースなどで、「1時間に降る降水量は60mm、1ヶ月分の約2倍の雨量に相当します…」などと発表されますが、とっさにどのくらいかわからないことがあります。そこで、気象庁が図解で表している「雨の強さと降り方」を元に、まとめてみました。

覚えておきたい雨のめやす

予報用語	1時間雨量(mm)	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子
やや強い雨	10以上～20未満	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	地面一面に水たまりができる
強い雨	20以上～30未満	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	
激しい雨	30以上～50未満	バケツをひっくり返したように降る		道路が川のようになる
非常に激しい雨	50以上～80未満	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
猛烈な雨	80以上～	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる。		

出典：気象庁

水害の種類を知ろう!



内水氾濫とは?

短時間に局地的な激しい雨が街に降り、下水管や排水溝の処理能力を超え地上に溢れ出す現象。これにより、地下街や線路、そして道路の下をくぐるアンダーパスが一瞬にして冠水するリスクを起こしてしまいます。

外水氾濫(洪水)とは?

豪雨により川の水量が急激に増え、堤防を越えたり破堤して水が溢れ出す現象。いわゆる「洪水」です。大量の水流や土砂が市街地へ一気に流れ込むと建物や車を流すなど、甚大な被害をもたらします。

内水・外水氾濫の複合水害時

一度川が氾濫すると、市街地全体が水没し、水が引くまで数日～数週間かかることもあります。土砂災害の危険性・住宅の床上・床下浸水被害、そして企業にとっても水害は業務停止など長期化する影響がでてきます。土のう(水のう)や止水板など物理的な浸水防止対策を。

見慣れた道路に潜む見えない冠水の危険

周囲より低い地形は、排水能力を超えた水が一気に集まりやすく、水面が平らな地面に見えるため、深さを見誤ってしまいがちです。足元が見えない冠水道路には、マンホールのフタ外れや側溝の境界が見えず転落するなど、命に関わる危険が潜んでいます。

「うちは大丈夫」が、一番あぶない。

「警戒レベル4(避難指示)」で全員避難です

自治体からの発令を待つだけでなく、危険を感じたら周囲に声をかけ、早めの行動を心がけましょう。

夜間の大雨は「垂直避難」という選択肢も

すでに外が冠水している場合は、無理に避難所へ向かうとむしろ危険です。自宅の2階以上や、近隣の頑丈な建物の高層階へ移動して命を守ってください。

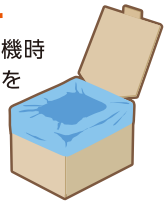
厚生労働省が推奨する「被災後の衛生・感染症対策」

片付け用「3点セット」を常備!

被災後の片付けでの感染症やケガを防ぐため、「マスク」「厚手のゴム手袋」「底の厚い靴(長靴)」を今すぐ一足先に準備しておくと安心です。

断水・停電への備え

飲料水に加え、避難時や自宅待機時に最も困る「携帯トイレ」や、衛生を保つための「アルコール消毒液」は最低3日分(推奨1週間分)を確保しておきましょう。



避難時は「傘や杖」を前に突いて歩く

どうしても冠水した道路を歩かなければならない場合は、長傘などを杖代わりにし、水底の安全を確かめながら一歩ずつ進むのが鉄則です。

車での移動時にアンダーパスには絶対に入らない

アンダーパス(立体交差の下をくぐる道路)は、周囲より構造が低いため、一瞬で水が溜まります。「少しの水深に見えても」進入は厳禁です。

水深30cm(タイヤの半分)で

水深が車両の床面を超えて車内へ浸水すると、エンジンやモーターが停止して移動できなくなるおそれがあります。

車を置いて避難する決断も

水深がドアの下端にかかると、車外の水圧で内側からドアを開けることが困難になり、ドアの高さの半分を超えると、内側からは開かなくなるおそれがあります。

万が一の脱出方法

◎まずは窓から逃げる
◎割るならドアガラスやリアガラス

日頃の備え

◎脱出時のハンマーは運転席の横に!
◎ハザードマップで河川氾濫時の危険区域やアンダーパスの位置確認を。